

- 問1 古墳時代の日本列島では、海外から高度な技術や文化を持つ人々が移り住み、社会の発展に大きな影響を与えました。高温で焼く硬い灰色の土器である「須恵器」の技術を日本に伝えた、朝鮮半島などから移住してきた人々を何と呼びますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 渡来人 2. 地頭 3. 遣隋使 4. 防人
- 問2 5世紀のヤマト王権の王たちが中国の皇帝に使節を送り、国内の支配権を認めさせていた時期の文化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 仏教の伝来にともない、大規模な寺院の建立とともに数多くの仏像が安置された。 2. 古墳の頂上や周囲に埴輪が並べられ、王の権威の高さや葬儀の様子を表現した。 3. 稲作の豊作を祈るための祭礼の道具として、青銅で作られた銅鐸が用いられた。 4. 魔除けや安産を願う呪術的な道具として、土偶が盛んに作られて集落の近くに置かれた。
- 問3 5世紀後半のヤマト王権の勢力範囲を知る手がかりとして、熊本県の江田船山古墳から出土した銀象嵌の銘文を持つ鉄刀があります。この鉄刀に記されている、当時の王権の中心人物を指す名称として正しいものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 卑弥呼 2. ワカタケル大王 3. 聖徳太子 4. 志賀島の金印の主
- 問4 古墳時代の中期から後期にかけて、大陸から伝わった技術や思想が当時の日本に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 大陸から青銅器の製作技術が伝わり、農耕の収穫を祝うための祭りの道具として普及した。 2. 律令国家の仕組みを確立するため、国家の成り立ちを記した日本書紀などの歴史書が作成された。 3. 日本独自の文字である「かな文字」が考案され、古今和歌集のような優れた文学作品が生まれた。 4. 穴窯を用いた高温焼成による須恵器の製作や、儒教・仏教といった新しい思想が導入された。
- 問5 5世紀の古墳から出土する、甲冑（よろい・かぶと）を身にまとい、背中に矢を背負った武人の姿を模した土製品について、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
1. 弥生土器と呼ばれ、大陸から伝わった金属器の使用方法を儀礼的に示している 2. 人物埴輪と呼ばれ、当時の緊迫した東アジア情勢を反映した軍事文化を伝えている 3. 七支刀と呼ばれ、百済の王から贈られた最新の鉄製武器の威力を示している 4. 唐から伝来した仏教儀礼に基づき、寺院の門に配置される守護神を表している
- 問6 5世紀の日本において、倭の五王と呼ばれる王たちが中国の南朝へ繰り返し使節を送った目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. 平城京を造営するためのモデルとして、中国の都の仕組みを詳しく調査するため 2. 中国皇帝から王としての国際的な地位を認められ、朝鮮半島南部での立場を有利にするため 3. 沿岸部で活動し周辺諸国を苦しめていた倭寇を取り締まるよう、中国から要請を受けたため 4. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に勝利するための軍事同盟を、中国の王朝と結ぶため
- 問7 古墳時代の日本列島において、大陸から移住してきた渡来人によって伝えられた、青灰色で非常に硬い性質を持つ土器の名前を答えなさい。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
1. 土師器 2. 須恵器 3. 縄文土器 4. 弥生土器
- 問8 5世紀頃、近畿地方を中心とする大和政権（ヤマト王権）の支配が各地に広がっていったことを示す資料として、大阪府にある大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築かれました。こうした時期に、地方の有力者の墓から出土したもので、大和政権の王の名称が刻まれているとされる遺物はどれですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 漢の皇帝から授けられたとされる金印 2. 王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀 3. 近畿地方で多く見つかった銅鐸 4. 装飾が施された石包丁
- 問9 古墳時代に築かれた、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような形状を持つ巨大な墓について、その名称と当時の状況を正しく述べたものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
1. 名称は方墳であり、ヤマト王権が全国の土地を直接支配するために、各地の役所の目印として設置した。 2. 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。 3. 名称は装飾古墳であり、ヤマト王権から独立した九州地方の豪族のみが、独自の文化を示すために築いた。 4. 名称は円墳であり、大和地方から移住した渡来人たちが、故郷の風景を再現するために全国に広めた。
- 問10 埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には、金象嵌（きんそうがん）によってある人物の名前が刻まれていました。この鉄剣に記されていた大王の名として正しいものを選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 聖徳太子 2. 卑弥呼 3. ワカタケル大王 4. 中大兄皇子
- 問11 3世紀ごろの中国大陸の情勢と、当時の日本との関わりについて述べた文として、内容が正しいもの一つを選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 唐が周辺諸国を従える強大な帝国を築いており、日本からは律令制度を学ぶために遣唐使が送られた。 2. 隋が南北に分裂していた中国を統一した時期であり、聖徳太子が小野妹子を派遣して交流を深めた。 3. 秦の王が初めて中国を統一して始皇帝と名乗り、日本を含む周辺地域に大規模な軍隊を派遣した。 4. 魏・呉・蜀の三つの国が分立して争っており、邪馬台国の卑弥呼はそのうちの魏に使いを送った。
- 問12 4世紀から5世紀にかけて、近畿地方を中心に誕生した「前方が方形で後方が円形」という特徴を持つ巨大な墳墓が、九州から東北地方まで広く分布するようになった歴史的背景について述べたものとして、最も適切な説明を選択してください。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. 大陸から渡来した人々が、自分たちの故郷で一般的だった墓の形を全国に広めたため 2. ヤマト王権の支配力や政治的な影響力が、近畿地方から日本各地へと拡大したため 3. 各地の豪族が、ヤマト王権に対抗するために独自に巨大な墳墓を築くことを競い合ったため 4. 仏教の伝来によって、全国の豪族が共通の形式で墓を作る宗教的義務を負ったため
- 問13 古墳時代、各地の有力者が巨大な墓を造りました。その中でも、上から見ると鍵穴のような独特の形（一方が四角形で、もう一方が円形）をした、日本独自の形式の古墳を何と呼びますか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 前方後円墳 2. 円墳 3. 装飾古墳 4. 方墳